

2020年 1 月号

No. 455

自治おきなわ



謹賀新年

昨年中はいろいろとお世話になり

心よりお礼申し上げます

今年もどうぞよろしくお願い致します

二〇二〇年



会 長

新垣邦男

(北中城村長)

副 会 長

當眞 淳

(宜野座村長)

副 会 長

宮里 哲

(座間味村長)

副 会 長

外間守吉

(与那国町長)

事務局長

知念政博

外、役職員一同

- ◆ 新年のごあいさつ
沖縄県町村会 会長 新垣 邦男 …… 2
- ◆ 新年のごあいさつ
沖縄県知事 玉城 デニー …………… 3
- ◆ リレーエッセイ
～“いちゅいゆんたんざ”のむらづくり～
読谷村長 石嶺 傳實 …………… 4
- ◆ 「この人に聞く」
元沖縄県副知事 新垣 雄久 …………… 5
- ◆ 沖縄気象台だより
～宇宙からの台風観測～
宮古島地方気象台長 白川 嘉茂 …… 16
- ◆ 第 189 回沖縄県町村会定期総会開く …… 18
- ◆ 全国町村長大会 …………… 19
- ◆ 会務の動き …………… 22
- ◆ 町村長選挙の結果 …………… 24
- ◆ 市町村一覧 …………… 26

創作「進貢船」

写真は、毎年10月末に開催される“読谷まつり”にて、大交易時代の先駆者「泰期（たいぎ）」の壮大なドラマを描いた創作「進貢船」での一コマ。

大交易時代のロマンと勇姿を再現した、創作「進貢船」では、明（今の中国）から新しい文化や文物を満載し帰還した泰期の乗った進貢船が、たいまつ（たいまつ）の炎によって導かれ姿を現すと、出演者と会場が一体となり、熱気とパワーが最高潮に達します。

その雄大かつ勇壮な姿は、見るものすべてを感動に誘い、遙か悠久の歴史に想いを巡らせます。

読谷まつりでは、他にも赤犬子大主前を迎え、総勢300名余りによる荘厳で華麗な演奏や、各字に伝わる伝統芸能がステージを彩る「赤犬子琉球古典音楽大演奏会」など、さまざまな演目で読谷まつりを盛り上げます。



表紙写真・文 < 読谷村役場 企画政策課 >



新年のごあいさつ

沖縄県町村会

会長 あら新 かき垣 くに邦 お男

明けましておめでとうございます。
昨年は新天皇陛下が御即位され、令和時代が幕開けしました。
皆様方におかれましては、新たな時代の輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は消費税率の引き上げに伴う財源により、3歳から5歳までのすべての子供たちの幼児教育・保育の無償化が実施されました。本年は、真に必要な子供たちの高等教育の無償化も行われることになっております。

昨年は、災害の多い年でありました。中でも沖縄県民にとっての心の拠り所だった世界文化遺産「首里城」が火災により焼失するという痛ましい出来事がありました。

また、近年の頻発化・激甚化・広域化する自然災害は、住民生活・産業経済に計り知れない影響を与えております。私たちは、安心安全な地域づくりのため自らの地域防災力向上への更なる取り組みを進める必要があります。

平成24年度に創設された沖縄振興特別推進交付金は、平成26年度をピークに減額が続いており、あらゆる分野において計画的な事業展開に影響が出ております。

以前の予算水準を確保するために、国への要請行動を進めるとともに、次期振興計画の策定を見据えた新たな展開に向けて、スピード感をもって取り組む必要があります。

依然として厳しい運営が続いております国保財政につきましては、引き続き国に対しまして財政支援を要請して参ります。

いよいよ本年は、1964年以来56年振りにオリンピック・パラリンピックが開催されます。日本全体が未来への躍動感に満ち溢れる令和新時代において、食料やエネルギーの供給、水源のかん養、国土の保全など欠くことのできない役割を担い続ける町村が、自主性・自立性を発揮し地域の多様性を活かした様々な施策が実施できるように、国・県・関係機関の協力を得ながら推進して参ります。

結びに、本年が「子年」にふさわしく多方面に亘り繁栄していける年となるように、ご理解と更なるお力添えをお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

本年もよろしくお願いいたします。



新年のごあいさつ

沖縄県知事

たまき
玉 城 デニー

はいさい、ぐすーよー いいそーぐわちで一びる
新年、あけましておめでとうございます。

沖縄県町村会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

皆様が、住民福祉の増進と行政サービスの向上に尽力され、地方自治の振興発展に大きく貢献されていることに、深く敬意を表します。

さて、昨年の沖縄県は、観光や雇用関連の指標が前年を上回るなど景気の拡大が続き、経済は好調といえる年でした。

一方では、琉球・沖縄の歴史と文化の象徴として、また沖縄県民のアイデンティティの拠り所として、多くの観光客にも親しまれてきた「首里城」の正殿等が焼失するという、大変衝撃的な出来事が起こりました。

このことに対し、町村の皆様をはじめ、県内外の多くの方々から温かいお見舞いの言葉やチムグクルからの御支援を賜りましたことに、心から感謝申し上げます。

今後は、一刻も早い首里城の復旧・復興に向けて、国との連携を密にしながら全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆様の御支援と御協力をお願い申し上げます。

私は、知事就任以来、「新時代沖縄の到来」、「誇りある豊かさ」、「沖縄らしい優しい社会の構築」の3つの視点から施策を展開してまいりました。

「新時代沖縄の到来」では、県経済の発展と県民所得の向上に向け、「沖縄県アジア経済戦略構想推進計画」に基づく諸施策を推進しているところであります。

「誇りある豊かさ」では、日米地位協定の問題点を更に明確化していく他国地位協定調査を実施するとともに、平和につながる身近な社会貢献活動に取り組む個人や団体等を表彰する「ちゅうらちな一草の根平和貢献賞」を創設したところです。

「沖縄らしい優しい社会の構築」では、子どもの貧困対策を最重要施策と位置づけ、諸施策を展開しております。

また、昨年11月に、「沖縄県SDGs推進本部」を設置し、「沖縄県SDGs推進方針」を決定しました。今後、同方針に基づき、全庁一丸となって、国、市町村を始め、企業、各種団体等と連携したSDGsの取組を推進してまいります。

沖縄県町村会の皆様には、引き続き県政への御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新たな年が皆様にとって希望に満ちた一年となりますよう心から祈念いたします。

くとうしん ゆたさるぐとう うにげーさびら
今年も よろしく願ひいたします。



— “いちゅいゆんたんざ” のむらづくり —

読谷村長

いし みね でん じつ
石 嶺 傳 實

読谷村はかつて、村土のほとんどを米軍関連用地として接収され、住み慣れた故郷とユンタンザンチュとしてのアイデンティティの回復が村づくりにおける大きな命題であり、そのような厳しい時代を村民とともに乗り越え、人間性豊かな文化村づくりを標榜し歩みを進めてまいりました。

現在も、日本国憲法の基本理念のもと「ゆたさある風水 優る肝心 咲き誇る文化 どう 想い合」をむらのあるべき姿として、村民とともに協働の村づくりに取り組んでいるところであります。

そのような中、平成18年に全面返還されました旧読谷飛行場跡地の利用計画は、現在の村づくりの骨子を成しており、読谷村地域振興センターを核とした農漁業産業振興、村道中央残波線を中心とした村道整備の拡充、村民の健康増進とふれあいの場となるパークゴルフ場の整備等を推進しております。

また、軍用跡地返還に伴う大湾東地区の区画整理事業や、大木地区並びに大木大湾地区で計画中の区画整理事業もさらに推進され、良好な居住環境と商業環境とがバランスよく配置される本村の新しい地域づくりもますます進められてまいります。

またスポーツコンベンション事業も旺盛

であり、ラグビー、野球、サッカー等さまざまなプロチームがキャンプ地として来村され、地域活性化へつながら多くのレガシーを読谷村に残しており、大変な盛り上がりを見せております。

このように現在の読谷村は、まさに“戦後復興”の真ただ中であるとともに、旺盛な財政需要が見込まれる、まさに村づくりの成長期を迎えております。

このようなむらづくりの成果を村民とともに共感できる「みんなで創る創造の村・共に働く協働の村・その成果を共感できる感動の村」を実現するために、さらに勢い増す読谷村「いちゅいゆんたんざ」を目指してまいります。

※いちゅいゆんたんざ＝勢いのある読谷村という意味です。

この人に聞く⑨



元沖縄県副知事
あらかき たけひさ
新垣 雄久

昭和5年2月20日生まれ。与那原町出身。

法政大学法学部法律学科卒業。その後、昭和32年琉球政府（現沖縄県庁）内政局主計課に採用され、厚生局、東京事務所渉外官等を歴任。復帰後、沖縄県総務部地方課長、生活福祉部長、教育長、出納長等を経て、昭和62年副知事に就任。退任後は、沖縄振興開発金融公庫副理事長、学校法人嘉数女子学園理事長等を歴任された。

その間、慰霊の念と平和への想いを心に抱き、現在、公益財団法人沖縄県平和祈念財団会長、沖縄印度友好協会会長、リザン・シー・パークホテル谷茶ベイ会長として活躍されている。

— 新垣さんは、法政大学を卒業後琉球政府に採用され財政、厚生、東京事務所などを歴任されました。今回は復帰の頃からお話を聞かせて下さい。

新垣 前回もお話ししましたが、復帰の日は東京事務所に残っていて式典には参加していません。その日は、電話が鳴りっぱなしで非常に忙しかった記憶があります。

復帰したからと言って、気分的には何も変わった気はしませんでした。沖縄県になって以降、政府とは制度上は好ましくないような話し合いについてはやりにくくなってしまいました。公式には苦勞しました。

自治省に行くと「もう琉球政府ではないんですよ、各県と同じ扱いしかできませんよ。そんな質問をしたら、日本の慣習としては、朝飯は味噌汁に決まっているでしょう、みそ汁で顔を洗ってこいとか言えませんよ、俺は」と冗談を言われたりしました。つまり、県であるならば当たり前のこ

とを聞くんじゃない、もう外国特別扱いはできなくなるという意味だったのでしょうか。

しかし、当時の役人の方々はお互い苦勞を知っているから、いろいろ非公式に法に触れないように弾力性のある指導助言をして頂きました。

— 施政権返還（沖縄の日本復帰）は政府にとっても歴史的偉業です。琉球政府の東京事務所は政府とのパイプ役ですし、官僚との付き合いも密接なものがあったと想像しますが。

新垣 沖縄に戻るときには、関係機関の方々から送別という意味での昼食会や夕食会をしていただいたのは非常に嬉しかったですね。そのとき、県庁に戻ると地方課長ですと伝えると「栄転だね」と祝福されたけど、東京事務所に来る前のポジションを聞かれ「財政課長でした」と答えたら、琉球政府・沖縄県の人事はよくわからないね、

と言われたことを憶えています。

地方課 新制度への対応

- 琉球政府が日本に組み込まれていく過程の興味深いお話しです。地方課長は、他府県では県庁職員の憧れのポストと聞いています。復帰し市町村も日本の地方自治制度に習熟しなければならない大切な時期で、県も能吏を課長ポストに充てなければならなかったと思います。財政課・地方課は国からの出向が多く、財政に詳しく政府と人脈もある新垣さんに白羽の矢が立ったのは半ば当然でしょう。

新垣 地方課の仕事は非常に大変だと言われていました。地方課には、行政・振興・財政・交付税・選挙の五つの係がありましたが、職員は皆「新制度への対応」に忙殺されていました。米国施政権下時代の市町村は、現在の市町村と異なり、それほど仕事は多くなかったと言えます。行政費すなわち公共事業については、琉球政府が行っていました。しかし、日本復帰後は、市町村の役割は大幅に変わりました。市町村は相当苦勞したようですが、そのサポートするのが県の地方課の役割でした。

- 地方課は現在の市町村課ですね。地方課時代のお仕事で記憶に残ることはなんでしょうか。

新垣 地方交付税交付金の総額確保への取り組みです。琉球政府時代から復帰を見越してすでに交付税係を設置し調査・研究など下準備を始めていました。私も東京事務所のころ「類似県調査」と称して、沖縄県と同程度の人口や経済規模の県を訪れては交付金獲得の実務について学んでいました。

宮崎、佐賀、鳥取、島根などの担当課へ出向いては、「沖縄県と同程度とは失礼かと思いますが、勉強に参りました…」とあいさつして実情を視察しました。

また、地方課転勤が急であったので、①郵便貯金問題②恩給問題③自治会館問題④宝くじ問題、この4つの事業を実施するまで2年の予定だった所を1年で解決しました。自治省の石原さんには大変お世話になりました。

地方交付税の満額確保

- 社会資本の整備状況も類似県と比較していましたね。近年これらの県は人口減の一方です。他方沖縄県は復帰後一貫して人口増で、今や沖縄県の方が県勢に勢いがあります。

新垣 類似県と明確に異なるのは、沖縄が離島県ということ、離島市町村が多いということ、もう一つは米軍基地の負担が大きいということです。例えば、離島の小さな島に、就学期を迎える子どもがいれば小学校が必要になり、配置する教職員も確保しなければなりません。基地負担の面では、面積の多くを米軍基地が占有している自治体では、土地の活用が大きく制限され、行政経費も通常より多く必要となります。自治省との折衝ではこれらを強調して交付金を増額させるのが地方課の重要な業務でした。

交付税についても、なかなか大変でした。例えば公共事業で造った国道、県道、市町村道の台帳がないのです。交付税の算定に必要なんですけど、全部琉球政府でやっていたのですから区別を意識していなかったのです。それを農林局とか土木に問い合わせ、各市町村にばらしていくんです。おたくの市町村道はこれだけ農道はこれだけ

と。この作業がはかどらず交付税の算定に非常に困った。自治省もその事情を分かっていますから、できない分については、両方の話し合いにより推計で出しなさいという事になったのです。

自治省から人材の受け入れ

— 日本政府と琉球政府の関係は、文字通り政府間関係の側面がありましたが、次第に国対普通の都道府県の関係になっていくんですね。

新垣 復帰2年程前から、復帰のための指導官を関係部局へ7人ほど派遣してもらっていました。その方々は復帰と同時に本省へ戻りましたが、医療部だけは残ってもらっていました。

これは、私が総務部長になってからの話ですが、西銘知事に相談し地方課に自治省から職員の派遣をしてもらうことにしました。石原信雄官房副長官に話したところ、「沖縄は自治省への拒否反応が強いと聞いているが大丈夫か」と。沖縄の実情に合わせた、貧乏県を見る人、将来性のある人、どちらかというとバンカラを送って下さいとお願いしました。すると最初に派遣されて来たのが、佐賀県の知事までされた、古川康さんでした。自治省に帰ってすぐに課長補佐となった。その人が知事に立候補した時、選挙の際には地方課OBも応援に行っています。

1年限りのポストが13回

— 新垣さんの年譜を拝見すると、地方課長1年で生活福祉部の次長にと、栄転されますね。

新垣 振り返ってみますと、1973年は復帰後の地方行政にとって、その土台づくりに

邁進した1年だった気がします。実質的には、復帰元年とでもいえる年を地方課の職員とともに汗を流しました。私は毎週のように自治省に呼び出されました。帰ってきた途端に、別の課から呼び出しがあつてすぐ上京ということもありました。

私は32年の公務員生活で24回ポジションが変わっているのです。組織が変わる度に、あっちに行けこっちへ行けと異動要員みたいでした。一番、行財政関係政力が弱い厚生局や教育長にまわされたのが3回あり、3回とも1年以内でした。1年限りのポストが13回程あるのです。新しい組織ができればその係長にいかされたり課長へ出されたり。だからそういう意味では、節目節目となったところや、幕開けとなったところに行きました。難しいところに難しい時期にあたるんですね。だから、いろんな時に「あの時はどうだった」と聞かれます。

異例の人事

— 1年限りのポストが13回は驚きます。たらい回しをされたのではなく、新垣さんが必要な人材として引く手あまただったことを示すエピソードです。履歴書によると、生活福祉部次長は比較的長く4年間努められたのですね。

新垣 4年間次長をしたのは珍しいです。この4年間に生活福祉部の部長が3人も代わりました。それで次長は残れということになったと思います。いつも残されました。次長で同じ職場に4ヵ年いるのは珍しい人事だと言われました。福祉関係は「ゆりかごから墓場迄」と言われる位ですが、複雑多岐にわたる事業ですし、市町村関連については保育所・老人ホーム・障がい者関係に関わりました。(※別紙参照)

教育委員会との人事交流

— 生活福祉部次長4年間の間に多くの仕事を成し遂げますが、紙幅の都合上省略させてください。次の移動先は教育庁ですね。

新垣 そうです。1987年（昭和62年）の2月頃だったと思いますが、知事に呼ばれて知事公舎に行くと平良幸市知事、平良清安総務部長、石川秀雄人事課長の3人が待っていました。知事から「県教育委員会へ教育次長として行ってほしい。主任制導入の道筋を整えてくれ」と説明されました。県教育委員会勤務は公務員として初めてのことであり、急な話で戸惑いもありました。「相談ですか、命令ですか」と聞くと「相談だ」と知事。総務部長が「知事が相談ということは命令と受け取るべきじゃないですか」というので、「命令ならば従います」となっていました。

知事部局から行くのは私が初めてのことで、もし行くとなると主任制をしにきたんだということを想像しますから、僕も困るし教職員会の支持がある知事も困る、「私が一人で教育庁に行くと話がおかしくなるから、復帰で制度が大きく変わってきたので、知事部局との大幅な人事交流ということをお義名分にして下さい」と進言しました。それで行政事務に明るい人を十数人連れて異動しました。知事部局と県教育委員会との本格的な人事交流の初回となったのです。

— 知事部局と教育庁は任命権者が違うのですね。教育庁の管理職は、学校現場の先生方が多いですね。行政経験の豊富な人を教育庁に置きたいという人事政策があったと想像されます。

新垣 当時の教育委員会には、行政職の職

員はいたが、その職務は主として会計事務や庶務的な事務に限られていました。主要ポストは、学校現場との交流者いわゆる教育職員が占めていたのですが、行政としての知識や経験の積み上げが浅い、行政の執行力の低下を招くのではないかと危惧する時代でした。

後で総務部長に聞いてみました。「行政的、財政的な経験のある人を教育次長に異動させたいが誰がいいか」と知事からその指示があり、複数推薦した中に私がいたそうです。私が与那原出身と知って、知事は「与那原か、僕の家内も与那原出身だよ。南部出身なら人事の地域的なバランスを考え、いいじゃないか」ということで決まったようです。選挙対策もあったのではないかと思います。実は平良知事の奥さんの母上と私の祖母は友人でした。後に分かった不思議な縁を感じました。

主任制の導入

— 主任制の導入は、教員組合などの激しい反対運動があったことを記憶しています。

新垣 主任制の実施を巡って行政側と組合側との対立が徐々に高まり、日本の教育は激しい動乱期を迎えようとしていました。沖教組と高教組が日教組との連携を強化して情報や戦術等に関する提供を受け、臨戦体制が整ってきていると思われる状況の中で、県教育委員会内の雰囲気はそんなに緊迫感が感じられず、内部体制も十分に整っているとは言えない状況でした。組合が強い時代です。本土復帰を勝ち取ったのは、組合が勝ち取ったという意識が高かったのです。

このような雰囲気を脱して、早急に主任制実施への対応を整えなければならないと



インタビューを受ける新垣氏

考えました。そこで先ず、内部体制を整える必要性を感じて教育次長、関係課長、お呼び関係職員をメンバーとする「行政研究会」を発足させ、月二回程度の定例的な勉強会を設けて、主任制問題についての行政側の理論付けや県民や教育関係者にアピールするための資料の在り方やその作成などについて協議を重ねました。またメンバーを他府県に派遣し、その報告を受けて主任制問題への対応等について学習を深め、その体制を整えたのです。

ところが、1979年（昭和54年）2月1日付けで生活福祉部長への異動を命じられたのです。

生活福祉部長から総務部長へ

— わずか10ヵ月で異動ですね。しかし部長職への栄転でおめでたいことです。生活福祉部長は2年お務めになります。

新垣 これは、平良幸市知事から西銘順治知事への政権交代のためだと考えられます。主任制の行く末は気になるところでしたが、3年後に再び教育委員会に行くこと

になります。

— 再度の教育委員会については、また後でお聞きすることにして経歴を追って順序よく行きたいと思えます。知事が交代し新垣さんは生活福祉部長に昇任し、更にその2年後県政運営の要、総務部長に就くことになるわけですね。総務部長時代についてお聞きします。

新垣 総務部長としての最初の仕事は、国際交流財団の設立です。西銘さんの国際交流に関する考え方は明確で、「沖縄は日本の一部分に収まっ

ていてはだめだ。国境を越えて他の国や地域と交流を持つことで将来の夢が広がる」「沖縄を日本の南の交流拠点にするべき」というものでした。西銘さんの考えを受けて、「沖縄県国際交流財団」の新設を構想しました。国の許可が必要で外務省が難関でした。国境を越えて他国と交流するのは外務省の仕事、県単位で外国と交流するのはやってほしくない、というのが本音でしょう。横浜や長崎といった外国人が多く住む地域で、その地域に居住する外国人と交流を深める仕組みはあったが、国境を越えて他の国や地域との交流を打ち出したのは沖縄県が初めてであったと思います。事務所は国際交流課に置き、理事長は知事で私は初代の専務理事でした。

沖縄国際センターの設置場所

— 国際交流は相互理解を深め平和保障のカギだと思います。国の独占はむしろ好ましくなく、自治体、諸民間団体、個々人の草の根まで多層多様な交流が望ましいと思います。西銘さんはいい仕事をしました。

新垣 国際交流に関しては、同じ頃もう一つ大事な仕事を任されました。「沖縄国際センター」の設置場所の選定と用地買収事業です。日本にアセアン諸国から研修生を招いて、母国の国づくりに役立つ人材を養成する施設です。県が用地を提供し、国が施設を建設し、運営を国際事業団が担います。市街地に近く、将来的には地域住民と交流できる場所として浦添市前田の高台を選び、県の土地開発公社に用地買収を依頼しました。ところがしばらくして、公社は取得が難しいと言ってきました。お墓が密集してそれを取得することができないというのです。家族にその年の干支の人がいて、今年は移転できないなどと述べる方もいました。今となっては笑い話ですが、私たちはそういう方を有名な「ユタ」に話を聞いてもらいましょう、と誘ったのです。ユタには、「国際センターは、沖縄の将来の発展に繋がるから、墓を移転した方がいい、その方がご先祖も喜ぶはずだから」と説得してもらいました。

この二つに見通しをつけた私は次の年には教育庁へと異動になります。

知事部局から初の教育長

— またまた1年での異動ですね。教育庁は2度目ですが、今度はトップの教育長です。何を期待されていたのでしょうか。

新垣 1982年（昭和57年）5月、2度目の教育委員会への異動です。今度は教育長です。西銘知事は、「総務部長1年で、教育庁への異動は不満だろうが、教育行政を軌道に乗せないといけない。主任制の準備は教育次長時代に君がやったのだから、今度は主任制を実施する環境を整えてくれ」とおっしゃったのです。知事部局から教育

長がでるのは初めてです。主任制なんて何でこんな難しい仕事を引き受けないといけないのか不安でした。しかし、それだけ信頼されている証拠だと思い、腹をくくって「いいですよ」と言った。知事は知事部局から教育長を送りたいという強い意向があったようです。

— 次長時代から3年経っていますが、主任制の進展状況はどうなっていましたか。

新垣 前任の前田功教育長をはじめ皆さんの苦勞と努力の結果、主任制実施のための骨組みが形作られ、組合との攻防も形式的には一応の決着がついていました。全ての県立学校で主任が任命され、市町村も53市町村中47市町村で学校管理規則が改正されました。残りは石垣市、西原町、北谷町、北中城村、中城村、読谷村の6市町村が未実施の状況でした。県教育長としてやるべき役割は、未実施市町村を強く指導すること、各学校において主任制の定着化とその機能面の充実を図ることだと考えました。

激しい反対運動

— 主任制については全国的に日教組が強い反対運動を展開していましたね。

新垣 教務主任の自覚を促すことを目的として1983年（昭和58年）度から教務主任研修会を開催することにしました。まず県立学校の研修会を行いました。組合が中止を要求して会場周辺で不参加の説得活動を行っていました。その結果参加予定者の半数程度が欠席、出席者も研修とは関係ない本を取り出し読み始める行為などで主任制反対の意思表示をしていました。予想はしていましたが、研修会の開催は行政側に

とって大変厳しいものでした。小中学校の研修会は教育事務所単位で行いましたが、教員組合だけでなく民間企業の組合も阻止行動に加わり県立学校の研修会以上に厳しいものでした。しかしながら、この研修会は主任の定着化、機能化、実働化を図っていく上でどうしても必要であり、粘り強く継続することにしました。

主任手当返上運動

— 先生方が主任手当を受け取らないという運動もあったと記憶しています。

新垣 教員が手当分を抛出して組合がそれを県教育委員会に持ち込み、そのまま放置して帰るといったことがありましたが、事前に銀行に依頼して返還金を一時保管してもらい、組合の口座に振り込んでもらいました。

学校現場の混乱が広がり、児童生徒の学習が十分に確保できない異様な状況になってきました。組合がストライキを繰り返し、また教育委員会等への抗議行動に動員指令が頻繁に出され、教師が教室を空けることが多くなってきたのです。校長が任命を報告する段階になるとますます異常の度合いを増し、多くの学校で校長教頭と教職員が激しく対立し、授業が午前中から打ち切られる事態となっていきました。行政が行う種々の研修事業のほとんどがボイコットされました。更には時間外勤務の拒否、PTA関連等の本務外事務処理への非協力、管理職には挨拶もしない等学校の雰囲気にとげとげしいものとなり、学校全体の協力体制が取れず、学校運営が大変困難になりました。

— 長期にわたる運動で組合も組織率の低下などダメージを受けたようです。

新垣 おおよそ6年間に及んだ主任制を巡る行政側と沖教組・高教組との激しい対立と闘争は行政側と両教組にも多大なダメージを与えたが、最大の被害者は児童生徒であり、そしてその保護者であったでしょう。

今後の教育行政の課題は、沖教組・高教組が懸念している点を払拭し、学校運営の円滑化に大きく寄与する主任の育成に最大限の努力を払っていくのはもちろんのことですが、主任制闘争で失ったものを修復して学校の正常化に努め、沖縄県の学校教育の充実をいかにして図っていくかが教育行政の大きな課題の一つでしょう。その時の厳しい行政措置は大きな成果になったと思っています。

県三役の一角 出納長へ

— 新垣さんは激しい主任制反対運動と向き合いながら、他方で教職員人事の広域交流、教職員研修の改善、教育センターの整備、高等学校の整備充実に取り組み成果を上げました。

新垣 教育長時代は、いろいろ思い出に残ることがあります。教職員研修がその一つです。それまで県教育庁と組合委員長の間で交わされた「確認書」なるものがありました。職員団体の全国レベルでの方針「中教審路線反対」「官製研修反対」によるものでした。職員団体との話し合いを重ねた上でそれを破棄しました。1983年2月です。これで沖縄県の教職員研修の基盤が確立しました。

二つ目が教職員研修事業の受け皿となる教育センターの移転充実です。産業教育棟とIT教育棟は当時全国的にも非常に少なく本県の教育センターは全国でも専先端をいくものとなりました。

三つ目が高等学校の整備・充実です。伝

統校に受験者が多く、そのため多くの不合格者を出していました。同時に過大規模校が生み出されました。特色ある学校の創設、生徒のニーズに沿った学科の編成を推進しました。できる子にはそれなりの教育を受けさせる特別な高校、海邦高校などを設置しました。

— 84年出納長に就任されます。出納長は県の首脳ですね。その経緯をお聞かせ下さい。

新垣 お前教育長もやったんだから、次はもう出納長だな」という話はありませんでしたが、まさかなれるとは思いませんでした。選挙という意味も考えられたんじゃないですかね。南部出身者が少なかったということも僕には幸いしたかもしれませんが。補助金とか予算とか公平にやりました。南部はいつも後れていたんです。あまり欲がないんですよ、南部は。

三役入りは、南部市町村会会長から推薦があったようです。1984年（昭和59年）10月出納長に就任しました。出納長時代は、出納事務より知事代理として各種会合に出席することが多かったですね。私は南部の選挙対策者で、特に1988年（昭和63年）の知事選を控えて多忙でした。

南部の選挙支援

— 出納長は一般の公務員と異なり、特別職で政治活動ができます。

新垣 出納長時代、南部の首長はほとんど保守でした。市町村長選挙は保守同士の争いが多くて困ってしまいました。私は南部担当の三役として調整役をしました。特に1988年の糸満市長選挙は、保守から二人立候補表明したので話し合っ二人とも降りてもらいました。

1986年（昭和61年）の東風平町長選挙は現職の金城哲雄さんに対して助役の富田栄善さんを擁立する動きがあり、秋の知事選に向けて一枚岩だった東風平の保守が分裂しそうになったのです。結局、富田さんに降りてもらい、県が引き取って次長クラスで過去の任用をふまえて特別任用しました。

南部市町村の窓口

— 南部市町村は、県との窓口として新垣さんを頼りにしたのですね。

新垣 ちょっと話が前後して総務部長時代に戻ります。与那原はずっと革新系の首長でしたが、私の地元でもありましたし、とても辛い立場になりできるだけ別の三役にお願いしました。相当てこ入れして山内俊光さんを保守系の当真正尚さんが破り当選しました。町財政がひっ迫していたので、助役の上原茂人氏が相談にきました、当時私は総務部長です。与那原町は、知念高校を誘致するため町有地を県に無償で貸していたので、その用地を県が買い上げてほしいと要請を受けました。当時あちこちの市町村から高校誘致のため県に貸していた土地を買い取ってくれという要請が来ていたが当分の間は全部断っていました。市町村財政が一番苦しかった時代でしたし、特に厳しかった与那原を先に買い取ることにしました。県がその後財政難の市町村については順序よく買っていく事にしました。

副知事時代

— 出納長を2年務めたれたあと副知事に就任されます。

新垣 公共事業担当副知事の時代は、国体前でしたから道路建設が旺盛でした。また

水不足解消のため県管理ダムをあちこちに建設する時代で、補償問題や地元対策に追われました。

西銘知事3期目の選挙を控え、選挙対策として南部の市町村を廻り、夜は演説会にも行きました。それで南部の方は保守系も多くなりました。西銘さんは事業の進め方が上手でした。予算に目立って地域の偏りがなかったから革新から中立になった首長もいました。西銘県政は革新からも評判がよかったのではないのでしょうか。

首里城復元 - 植木構想

— 副知事時代のお仕事としてはどのようなものがありましたか。

新垣 コンベンションセンター、海邦国体、首里城公園、産業振興資金の創設(100億円)などを思い出します。

首里城正殿の復元は1989年(平成元年)に着手されます。副知事を退任するころです。それに至る経緯を紹介しておきます。

首里城復元について西銘さんは意欲を見せていました。しかし大蔵省は「灰じんに帰して形のないものに予算は付けられない」と厳しい姿勢でした。それで1983年(昭和58年)、西銘さんが自民党沖縄振興委員会の沖縄戦災文化財等復元に関する小委員会の植木光教委員長に首里城復元を全額国庫負担するよう要請しました。そのとき植木さんが「補助金を出してもらう方法がある」旨を告げ、西銘知事が「国でやってもらうようお願いします」と答えたそうです。それで補助金を出すための調査で沖縄開発庁の係長が来県したのです。このとき開発庁から、県の対応は課長でいいという連絡があったという事でしたので課長で対応しました。そしたら植木さんから、「対応が悪い。軽くあしらっている」と古謝得善さ

ん(副知事)に電話が入ったのです。それで古謝さんと文化財担当の教育長の私と東京事務所長を伴って夕食会にお連れしてその時の状況を説明し、行き違いをご理解いただきました。

結局植木さんは、西銘さんに首里城公園を国営公園として整備する案を示しました。しかし、沖縄にはすでに国営海洋博記念公園があります。1県に2つの国営公園は例がないと大蔵省が反発したため知恵を絞りました。まず、国営海洋博記念公園があつてそれが海洋博地区と首里城地区に分かれると考えればいいというものでした。この案は植木構想と言われました。

後に金秀創業者の呉屋秀信さん、古謝徳善さん、私が発起人になり植木さんを囲む沖縄側の親睦団体「植木会」をつくって交流を続けました。



聞き手の仲地先生

野党にも人気の西銘順治知事

— 出納長と副知事で合わせて4年お努めになりました。西銘知事はどういう方だったのでしょうか。

新垣 政策的な困った部分について、基地

問題だとかなんとかは俺が決めるんだと。実行はおまえらで頼むよと、割とおおらかでした。おまえらでしっかりやってくれ、責任は俺がとる。文句が来たら俺のところに寄せ」とそういうタイプでした。仲間意識を持って、議会が終わると野党の議員さんともよく酒を一緒に飲んでいました。西銘さんは社交上手でした。

西銘さんは、いろんな情報を集めて、これだという企画をまとめ上げる能力がずば抜けており、それが彼の魅力でした。先見の明があり、きっかけを掴む、チャンスを掴むところが素晴らしい方でした。それを見習うべきだと思いました。

沖縄振興開発公庫副理事長へ

— 出副知事就任は 87 年で、89 年に退任されたんですね。

新垣 平成元年に退任ということです。副知事は 2 年で短かった。西銘さんに「言いくいけど、君もっと副知事やりたいたらうが、公庫に行ってくれ」と言われました。沖縄振興開発金融公庫の副理事長ポストです。異動は突然言われることが多く、困りましたが上司の言うことは聞かざるを得ません。多くの人から公庫の副理事長ポストは天下りと言われましたが、「実は天上がりだよ」と冗談を言ったものです。初代は知念朝功さん、ついで久場政彦さん、比嘉幹郎さん。ところが比嘉さんが選挙に出馬する為に辞める事になりました。その後任として私の名前がすぐ新聞にでたものだから、公庫は「公庫の人事を県の方から発表するのはおかしい。白紙に戻す」と言ってきました。西銘さんは困ったでしょう。「新垣君心配するな、山中貞則さんと相談したから」と話していました。1 週間経って理事長の藤中さんから「発令は 1 週間後にす

るから 1 週間だけ休んでくれ」との電話がありました。結果的に私にとって素晴らしい経験をさせて頂いたと思います。

育てられ励まされ支えられた 88 年

— 新垣さんは公庫理事長を 4 年お努めになって退任、その後も嘉数学園（沖縄女子短大）理事長を 14 年、沖縄県社会福祉協議会会長を 7 年お務めになります。現在は、公益財団法人沖縄県平和記念財団会長、沖縄印度友好協会会長、リザン・シーパークホテル谷茶ベイ会長として活躍されておられます。琉球政府・沖縄県庁での公務員生活 32 年の間で、異動した部署は 24 か所程、1 年未満は 13 か所程ということをお聞きすると、新垣さんが、いかに求められる人材であったかわかります。今回のヒヤリングは携わった個別の事業よりは、行政や政治の本質や実態を示すような貴重なお話しを中心にお聞きしました。

最後に 89 年の人生を振り返って一言。

新垣 仕事というものは 1 人でできるものではありません。幼い頃は身体が弱く祖父母に大事に育てられ、周りに励まされ、支えられて来ました。沢山の協力と苦勞が私をここまで育ててくれたと思います。人生に悔いなしです。しかし私的には喜怒哀楽いろいろ経験しました。迷惑をお掛けした方もおられると思います。そういう方々には申し訳ないと思っています。とはいえ、人生は実に楽しいものです。これまで素晴らしい縁で結ばれた皆さまに深甚なる感謝を申し上げます。

※別紙参照（P7）実績一覧表

次長在任中に開所した特養ホーム

施設名	所在地	開所年月日
谷茶の丘	恩納村	1976（昭和51）年5月1日
でいご園	宜野座村	1976（昭和51）年5月1日
愛の村	北中城村	1977（昭和52）年5月1日
ありあけの里	浦添市	1977（昭和52）年5月1日
宜野湾市福寿園	宜野湾市	1977（昭和52）年6月1日

部長時代に開所した特養ホーム

施設名	所在地	開所年月日
東雲の丘	南城市	1979（昭和54）年4月1日
楽寿園	うるま市	1979（昭和54）年4月20日
大名	那覇市	1979（昭和54）年9月1日
沖縄一条園	沖縄市	1980（昭和55）年5月1日
北斗園	国頭村	1980（昭和55）年6月2日
転生園	八重瀬町	1980（昭和55）年6月5日

保育所の設置認可の状況（1974年～1977年度）

年度	設置主体	カ所	名称及び設置経営主体・カ所数
1974 (昭和49年)	公立	20	国頭保育所（国頭村）他19カ所
	私立	4	渡保育所（福・都島友の会）他3カ所
	計	24	
1975 (昭和50年)	公立	19	中央保育所（今帰仁）他18カ所
	私立	5	光り子保育所（福・中元福祉会）他4カ所
	計	24	
1976 (昭和51年)	公立	11	並里保育所（金武町）他10カ所
	私立	6	すこやか保育園（福・文光福祉会）他5カ所
	計	17	
1977 (昭和52年)	公立	16	美崎保育所（仲里村）他15カ所
	私立	32	愛育保育園（福・愛育福祉会）他31カ所
	計	48	
合計	公立	66	
	私立	47	
	計	113	

『児童福祉法制定50周年記念 戦後沖縄児童福祉史』（沖縄県生活福祉部）

本稿は、新垣雄久著『新垣雄久回顧録』（新星出版）、「新垣雄久氏に聞く」『戦後沖縄の証言』（JSPS 科学研究費 15K03283 研究成果報告書）を基にしてインタビュー形式にまとめ、新垣雄久氏が補筆修正したものである。（仲地 博）

～ 宇宙からの台風観測 ～



宮古島地方気象台長

しら かわ よし しげ
白 川 嘉 茂

「自治おきなわ」読者の皆様、はじめまして、昨年4月から宮古島地方気象台長を務めております白川と申します。

この地では、時折、島言葉を耳にすることがあります。そんな時、その独特の音調に誘われてつい聞き入るのですが、残念ながら、話しの内容まではわかりません。そこで周囲の人に尋ねてみるのですが、驚くことに、宮古島の出身でない方からは「自分の島の言葉ではないのでわからない」と返ってきます。島ごとに言葉がある沖縄に驚きです。島言葉の理解はまだまだですが、島言葉「まくとぅそーけーなんくるないさ」を心に留めて、日々取り組んでいます。

沖縄と台風と気象衛星「ひまわり」

さて、沖縄で最も気になる気象現象は何か？と尋ねたら、大多数の方が台風と答えるのではないのでしょうか。沖縄地方は、台風銀座と呼ばれるくらい台風の接近の多い地域です。気象庁ホームページの「台風の統計資料」には、「沖縄・奄美は年間平均7～8個の台風が接近」とあります。2019年シーズンも、台風第5号、第9号、第13

号、第17号、第18号などが、この地に接近しました。ここからも、台風と縁深い地域であることが改めて確認できます。

この沖縄地方と切っても切れない関係にある台風の監視になくてはならないのが、気象衛星「ひまわり」です。1977年に打ち上げられた時、いつも地球を見つめていること、天気に関係する衛星ということから、太陽をイメージさせる名前がふさわしいとして「ひまわり」と名づけられました。台風は洋上で発生しますが、洋上には観測点がほとんどありません。船舶などによる観測もありますが数が限られます。そこで、気象衛星が広い海洋を観測範囲に収め、高い頻度で画像を取得することで、観測の空白を埋めているのです。

気象衛星「ひまわり」の機能

気象衛星「ひまわり」には、「イメージャ」と呼ばれるカメラが搭載されています。このカメラからは、雲などで反射した可視光を捉えた可視画像、雲や海面などから放射した赤外線をつけた赤外画像が得られます。画像に映った台風の眼の位置から、台

風の中心位置が推定できます。また、発達した積乱雲の分布から、台風の強さが推定できます。加えて、雲の移動から台風周辺の風の向きと強さを推定することもできます。さらには、台風の発達と関係の深い海水の温度も赤外画像から推定することができます。気象衛星が取得する画像は、一見ただの白黒写真にしか見えませんが、実は台風に関連するいろいろな気象情報を抽出することができる観測データなのです。

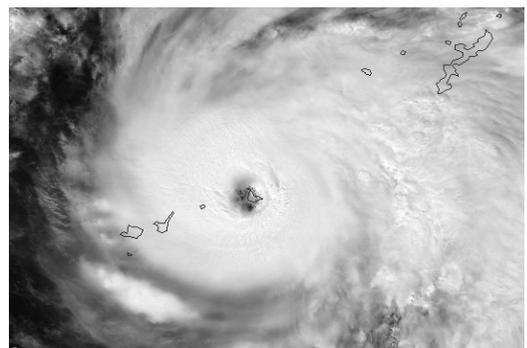
気象衛星「ひまわり8号・9号」

気象衛星「ひまわり」が運用を始めてから約40年が経ちました。現在運用中の衛星は、8代目の「ひまわり8号」です。初号機以降、さまざまな改良が加えられ、観測機能も大幅に向上しました。当初3時間毎であった観測も現在では10分毎になり、日本付近に限れば2.5分毎に最新の雲画像が送られてきます。解像度も上がり、きめ細かな画像になりました。また、観測される画像の種類も増えました。この進歩をテレビ放送に例えて、白黒がカラーになり地デジになったと形容する人もいます。画像から抽出される各種情報の質も上がりました。以前は専用の受信装置がないと雲画像を見ることができなかったのですが、今では気象庁のホームページで簡単に見ることができます。雲画像を眺めることで、気象衛星「ひまわり」をより身近に感じていただければ幸いです。

「ひまわり8号・9号」の後継衛星

2015年に運用を開始した「ひまわり8号」も2022年には観測寿命の7年を迎えます。その後は、「ひまわり8号」と同じ仕様で製造され、既に打ち上げられ宇宙空間で待機している「ひまわり9号」に主役の座を譲ります。気象衛星は、検討を開始してから製造、打ち上げを経て、実際に運用できるようになるまでに10年近い年月が必要です。既に、「ひまわり8号・9号」の後継衛星について検討すべき時期を迎えています。そこで、気象庁では、「静止気象衛星に関する懇談会」を開催し、今後の気象衛星の整備・運用のあり方について広い知見を有する有識者の方々に幅広くご議論いただくことに着手しました。気象庁では引き続き、気象衛星による観測を実施するとともに、国民の安全・安心に欠かせない気象衛星データの利活用に取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。

末筆ではありますが、新年を迎え、皆様の地域のますますの安全とご発展を祈念いたします。今回は、南大東島地方気象台長からエッセイをお届けする予定です。



台風第13号(令和元年9月5日 13:20)

第 189 回 沖縄県町村会定期総会開く

沖縄県町村会の第 189 回定期総会が、去る 11 月 14 日（木）に県内町村長が出席し、沖縄県市町村自治会館において開催されました。

総会では新垣会長のあいさつ後、議事に移り多くの議案等が審議されました。審議に付された議案等は次の通りです。



- | | |
|---------|---|
| 選任第 1 号 | 沖縄県町村会監事の選任について |
| 議案第 1 号 | 令和 2 年度沖縄県町村会分担金について |
| 報告第 1 号 | 令和 2 年度負担金等交付申請団体負担金の決定について |
| 報告第 2 号 | 「令和 2 年度沖縄振興に関する内閣府一括計上予算の要請について」の専決処分について |
| 報告第 3 号 | 「沖縄県の国民健康保険事業に関する財政支援について」の専決処分について |
| 報告第 4 号 | 令和元年 8 月豪雨及び台風 15 号にかかる義援金について
(佐賀県・千葉県) |
| 報告第 5 号 | 全国町村長大会等への参加・協力方について |
| 報告第 6 号 | 本県における災害対策費用保険の加入状況等について |
| 報告第 7 号 | 沖縄米軍基地労働者を対象とした石綿関連疾病に係る災害補償制度等の周知について |
| 報告第 8 号 | 各種団体からの要請等について
(1) 会計年度任用職員制度移行に伴う財政確保に関する要請書
(2) 令和 2 年度 町村への中小企業指導事業負担金交付要請について |



全国町村長大会

全国町村会は11月27日正午から東京・渋谷のNHKホールで全国町村長大会を開催しました。大会には、全国926の町村長、都道府県町村会関係者及び来賓の安倍内閣総理大臣、大島理森衆議院議長、山東昭子参議院議長、高市早苗総務大臣、北村誠吾まち・ひと・しごと創生担当大臣、武田良太内閣府防災担当大臣、鈴木俊一自由民主党総務会長、松尾文則全国町村会議議長会会長など約1,300名が出席しました。

大会は棚野孝夫副会長（北海道白糠町長）の司会で進められ、はじめに荒木泰臣全国町村会長（熊本県嘉島町長）が挨拶に立ち、「町村を取り巻く環境は極めて厳しいものがある。我々町村長が、相互の連携を一層強固なものとして、直面する課題、将来にわたる困難な課題に一致団結して積極果敢に取り組んでいこう」と参加者に訴えた。



全国町村会長 荒木 泰臣（熊本県嘉島町長）

この後來賓挨拶に移り、安倍内閣総理大臣が「町村長の皆様におかれては、今後とも地域のリーダーとして先頭に立ち、町村の発展に遺憾なく力を発揮されることを期待するとともに、国が進める諸政策へのご理解をお願いします」と挨拶。引き続き、大島衆議院議長、山東参議院議長、高市総務大臣、北村まち・ひと・しごと創生担当大臣、武田内閣府防災担当大臣、鈴木自由民主党総務会長、松尾全国町村議会議長会会長がそれぞれ挨拶した。



衆議院議長 大島 理森

なお、大会に臨席した衆議院議員及び参議院議員は150名（代理を含む）であり、本



内閣総理大臣 安倍 晋三

人出席者を紹介した。

ここで町村へのメッセージをいただくため、明治大学農学部教授小田切徳美氏が登壇、「都市なくして農村はなく、農村なくして都市はない。都市・農村共生社会が、まさに今扉を開けようとしている。町村がまずは『にぎやかな過疎』づくりでリードし、さらにわが国全体としてそのような社会が実現することを期待する」と激励した。



参議院議長 山東 昭子

この後、大会議長に太田長八副会長（静岡県東伊豆町長）を選出し、議事に入った。議案については、大会運営委員会で決定した12項目の決議案を上程、政務調査会の各委員会委員長が提案理由を説明した。はじめに「一億総活躍社会の実現に向け、地方創生の更なる推進を図ること」など4項目を坂口博文行政委員会委員長（徳島県那賀町長）が、続いて『まち・ひと・しごと創生事業費』の拡充及び地方交付税等の一般財源総額の確保」など4項目を佐藤仁財政委員会委員長（宮城県南三陸町長）が、「田



総務大臣 高市 早苗

園回帰の時代を拓き、都市と農山漁村の共生社会を実現すること」など4項目を羽田健一郎経済農林委員会委員長（長野県長和町長）が、それぞれ決議案の趣旨を説明し、原案どおり決定した。また、「防災・減災対策の更なる強化・推進に関する緊急決議」が佐藤財政委員長より緊急決議案として上程、原案どおり決定した。



まち・ひと・しごと創生担当大臣 北村 誠吾

創生に関する特別決議」について庵逄典章副会長（兵庫県佐用町長）が、それぞれ提案理由を説明し、満場一致で決定。さらに34項目の大会要望も一括採択された。これらの決議、特別決議及び要望事項を実現するための実行運動方法については、地元選出国會議員、政府要路に対して、適宜有効な方法で行うことを決定し、14時に閉会した。



内閣府防災担当大臣 武田 良太

次に、「これからの町村行政と新たな圏域行政に関する特別決議」について永原讓二副会長（福岡県大任町長）が、「農村価値の



自由民主党総務会長 鈴木 俊一



全国町村議会議長会会長 松尾 文則

会務の動き

令和1年9月～令和1年11月

■沖縄県町村会

- 9月4日 「おきなわ花と食のフェスティバル2020」第2回推進本部会議 (JA会館)
- 4日 災害共済事務連絡会議 (東京都)
- 5日 政務調査会財政委員会(財政委員会合同委員会) (東京都)
- 5日 全国町村会理事会・都道府県町村会長会 (東京都)
- 5日 第56回海外地方行政調査説明会 (東京都)
- 12日 新型ジェット機ファルコン2000 就役式・機体見学会 (那覇航空基地)
- 17日 令和元年度「しまくとぅば普及推進専門部会」(第1回) (沖縄県庁)
- 18日 令和元年度市町村総務担当課長会議 (沖縄県庁)
- 19日 令和元年度第3回後継者育成基金事業業務審査委員会 (土地改良会館)
- 19日 令和元年秋の全国交通安全運動開始式 (沖縄県庁)
- 24日 「第43回沖縄の産業まつり」第1回実行委員会 (ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城)
- 25日 平成31年度九州地区町村会総務・政務事務研究会(～26日) (宮崎県)
- 27日 第34回南部消防操法大会 (糸満漁港)
- 10月9日 第62回沖縄県社会福祉大会 (沖縄コンベンションセンター)
- 10日 令和元年度第1回事業調査委員会(沖縄県地域振興協会) (市町村自治会館)
- 15日 沖縄県町村会負担金等審議委員会 (市町村自治会館)
- 18日 全国町村会理事会・都道府県町村会長会・政務調査会 (東京都)
- 23日 第2回令和元年度しまくとぅば普及推進専門部会 (沖縄県庁)
- 24日 第56回海外地方行政調査(～11/1)(アメリカ・カナダ)
- 24日 令和元年度第1回沖縄県歯科口腔保健推進協議会 (沖縄県教職員共済会館)
- 28日 沖縄県さとうきび対策本部構成団体事務局会議(JA会館)
- 30日 沖縄振興市町村協議会作業部会(第3回) (沖縄県庁)
- 31日 全国簡易水道協議会 令和元年度監事会 (東京都)
- 11月5日 令和元年度第1回沖縄県国土利用計画審議会 (沖縄県庁)
- 7日 沖縄県町村会理事会 (市町村自治会館)
- 14日 第189回沖縄県町村会定期総会 (市町村自治会館)
- 20日 第64回簡易水道整備促進全国大会 (東京都)
- 20日 令和元年度「第3回沖縄県子ども・子育て会議」 (沖縄県教職員共済会館)
- 21日 「令和2年度沖縄振興予算の満額確保に係る要請」 (東京都)
- 26日 全国町村会理事会・都道府県町村会長会・全国町村長大会運営委員会 (東京都)
- 26日 「町村の振興を考える会」総会・意見交換懇談会 (東京都)
- 27日 全国町村長大会 (東京都)
- 28日 水産業振興・漁村活性化推進大会、定期総会 (東京都)
- 28日 全国観光地所在町村協議会理事会 (東京都)
- 28日 全国観光地所在町村協議会総会 (東京都)
- 28日 要請活動 (東京都)

30日 町イチ!村イチ!2019(～12/1)
(東京都)

■沖縄県町村会災害共済事業

9月12日 災害共済加入推進会議
(東京都)

10月11日 災害共済事業事務説明会
(市町村自治会館)

■沖縄県市町村職員互助会

10月10日 平成31年度全国市町村互助
団体連絡協議会業務研究会
(長野県)

30日 平成31年度一般社団法人沖縄
県市町村職員互助会中間監査
(市町村自治会館)

11月 7日 第53回研修旅行(～10日)
(台湾)

21日 車イス等贈呈式
(沖縄県立八重山病院)

■沖縄県離島振興協議会

9月18日 「離島フェア2019」絵画コン
クール審査会
(市町村自治会館)

18日 沖縄県ヘリコプター等添乗医師
等確保事業運営協議会定例会
(沖縄県庁)

24日 令和元年度離島フェア開催実
行委員会第3回幹事会・出展
者説明会(中南部地区)
(市町村自治会館)

26日 「離島フェア2019」協賛企業
訪問(～27日)
(協賛企業11社)

10月 3日 令和元年度離島フェア開催実
行委員会第3回幹事会・出展
者説明会(八重山地区)
(石垣市健康福祉センター)

10月 3日 令和元年度離島フェア開催実
行委員会第3回幹事会・出展
者説明会(八重山地区)
(石垣市健康福祉センター)

4日 「島おこし奨励賞」「離島フェ
ア2019優良特産品」選考審
査会(市町村自治会館)

7日 公益財団法人日本離島センター
令和元年度海外離島調査
(エストニア共和国)

7日 令和元年度離島フェア開催実
行委員会第3回幹事会・出展
者説明会(多良間村)
(多良間村コミュニティ施設)

8日 令和元年度離島フェア開催実
行委員会第3回幹事会・出展
者説明会(宮古地区)
(宮古島市役所)

10日 令和元年度離島フェア開催実
行委員会第3回幹事会・出展
者説明会(久米島町)
(久米島町役場)

11日 沖縄県振興審議会「第3回離
島・過疎地域振興部会」
(県立離島児童生徒支援センター)

15日 令和元年度離島フェア開催実
行委員会第3回幹事会・出展
者説明会(北部地区)
(本部町役場)

23日 沖縄県振興審議会「第4回離
島・過疎地域振興部会」
(沖縄県立図書館ホール)

11月 5日 「離島フェア2019」軍港使用
事前調整会議
(トリイ通信施設沖縄基地管理本部)

6日 「離島フェア2019」新聞社・
テレビ局への協力依頼
(新聞社2社、テレビ局4社)

7日 第149回沖縄県離島振興協議
会理事会(市町村自治会館)

12日 沖縄県振興審議会「第5回離
島・過疎地域振興部会」
(県立離島児童生徒支援センター)

14日 第135回沖縄県離島振興協議
会定期総会(市町村自治会館)

15日 「離島フェア2019」(～17日)
(沖縄セルラーパーク那覇)

23日 「アイランダー2019」(～24日)
(東京都)

26日 公益財団法人日本離島センター
第1回臨時評議員会
(東京都)

27日 全国離島振興協議会令和2年
度離島振興関係予算確保のた
めの要望運動(東京都)

■沖縄県過疎地域振興協議会

10月30日 「全国過疎問題シンポジウム

2019in 青森」(～ 11/1)

- (青森県)
- 11月7日 第90回沖縄県過疎地域振興協議会理事会
(市町村自治会館)
- 14日 第90回沖縄県過疎地域振興協議会定期総会
(市町村自治会館)
- 15日 全国過疎地域自立促進連盟第139回理事会 (東京都)
- 15日 全国過疎地域自立促進連盟第50回定期総会 (東京都)
- 25日 「過疎地域自立促進のための新たな立法措置に関する要請」
(東京都)

■沖縄県市町村総合事務組合

- 9月19日 都道府県退職手当組合職員研修会 (東京都)
- 19日 非常勤職員公務災害専決処分 (泉崎法律事務所)
- 10月24日 令和元年度消防団員等公務災害補償等研修会 (東京都)
- 31日 令和元年度町村監査委員全国研修会(～1日) (東京都)
- 11月19日 非常勤職員公務災害専決処分 (泉崎法律事務所)

■沖縄県町村土地開発公社

- 11月7日 沖縄県町村土地開発公社幹事会 (市町村自治会館)
- 14日 沖縄県町村土地開発公社理事會 (市町村自治会館)

町 村 長 選 挙 の 結 果

— ご当選おめでとうございます —

△任期 令和元年12月4日～令和5年12月3日▽



北大東村長
(きただいたくそうんちよう)

宮城光正
(みやぎみつまさ)

(六期目)

大切なマイカーには…

全国町村等職員の自動車共済 + 上乗せ 車両共済(保険)

のご加入がオススメです!

自動車共済

相手方への対人・対物賠償、
ご自身のケガに対する補償

対人賠償



対物賠償



限定搭乗者



セット
で
加入

車両共済(保険)

ご自身のお車の損害を補償



【ご注意】
「車両共済(保険)」は、「自動車共済」に上乗せして、別加入する制度です。
「車両共済(保険)」だけに加入することはできません。

オプション1

地震・噴火・津波車両全損時一時金特約(有償)

地震・噴火・津波により、ご契約の自動車のフレーム、サスペンション、原動機などに所定の損害が生じた場合やご契約の自動車が流失または埋没し発見されなかった場合、運転席の座面を超えて浸水した場合などに、地震・噴火・津波車両全損時一時金として50万円(車両保険金額が50万円を下回る場合はその金額とします。)をお支払いする特約です。

特約保険料

(年間(集团級年一括払の場合)) 一律**4,750円**となります。
車両共済(保険)金額が50万円を下回る場合は、それに応じて保険料が安くなります。

オプション2

弁護士費用特約(有償)

自動車事故などにより被保険者がケガなどをされたり、自らの財物(自動車、家屋など)を壊されたりすることによって、相手の方に法律上の損害賠償請求をするために支出された弁護士費用や弁護士などへの法律相談・書類作成費用などを保険金としてお支払する特約です。

弁護士費用
保険金

1事故
1被保険者につき

300万円程度

法律相談・書類作成
費用保険金

1事故
1被保険者につき

10万円程度

【ご注意】お支払の対象となる費用は、損保ジャパン日本興亜の同意を得て支出された費用にかぎります。

オプション3

事故・故障時代車費用特約(有償)

ご契約の自動車がロードアシスタンス特約の支払対象となる事故、故障またはトラブルにより走行不能となり、かつレッカーけん引された場合、または車両保険の支払対象となる事故によりご契約の自動車に損害が生じた場合に、修理などでご契約の自動車を使用できない期間など所定の支払対象期間のレンタカー費用をお支払いする特約です。ただし、そのレンタカー費用について、付帯された他の特約の保険金が支払われる場合を除きます。

【ご注意】お支払の対象となる期間は、「レンタカーのご利用開始日からその日を含めて30日」かつ「事故発生日などの翌日から起算して1年以内」を限度とします。

このパンフレットは概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜までお問い合わせください。

全国町村職員生活協同組合

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-35 全国町村会館内
TEL 03-3581-0479 URL: <http://www.zcss.jp/>

【車両共済(保険)の取扱代理店】

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

株式会社 千里

0120-731-087 FAX 03-3519-7325 <http://www.chisato-ag.co.jp>

(ちさと) お手元に車検証がある場合には、見積依頼書と併せてFAXください。また、送信の際はFAX番号をよくご確認ください。

❁ 市 町 村 一 覧

市町村名	市町村長	年齢	任 期 (令和)	就任 回数	役 所 ・ 役 場				
					電話番号	FAX番号	郵便番号	所 在 地	
市 部									
那 覇 市	シロ マ ミキ コ 城 間 幹 子	68	4. 11. 15	2	(098) 867-0111	(098) 862-0602	900-8585	那覇市泉崎1丁目1番1号	
宜野湾市	マツ ガワ マサ ノリ 松 川 正 則	66	4. 9. 30	1	(098) 893-4411	(098) 892-7022	901-2710	宜野湾市野嵩1丁目1番1号	
石 垣 市	ナカ ヤマ ヨシ タカ 中 山 義 隆	52	4. 3. 19	3	(0980) 82-9911	(0980) 83-1427	907-8501	石垣市美崎町14番地	
浦 添 市	マツ モト テツ ジ 松 本 哲 治	52	3. 2. 11	2	(098) 876-1234	(098) 876-8585	901-2501	浦添市字安波茶1丁目1番1号	
名 護 市	ト グ チ タケ トヨ 渡 具 知 武 豊	58	4. 2. 7	1	(0980) 53-1212	(0980) 53-6210	905-8540	名護市港1丁目1番1号	
糸 満 市	ウエ ハラ アキラ 上 原 昭	69	2. 7. 5	1	(098) 840-8111	(098) 840-8112	901-0392	糸満市潮崎町1丁目1番地	
沖 縄 市	クワ エ サ チ オ 桑 江 朝 千 夫	64	4. 5. 11	2	(098) 939-1212	(098) 934-3830	904-8501	沖縄市仲宗根26番1号	
豊見城市	ヤマ カワ ヒトシ 山 川 仁	45	4. 11. 7	1	(098) 850-0024	(098) 850-5343	901-0292	豊見城市宜保一丁目1番地1	
うるま市	シマ ブク トシ オ 島 袋 俊 夫	67	3. 5. 14	3	(098) 974-3111	(098) 973-9819	904-2292	うるま市みどり町一丁目1番1号	
宮古島市	シモ ジ トシ ヒコ 下 地 敏 彦	74	3. 1. 24	3	(0980) 72-3751	(0980) 73-1645	906-8501	宮古島市平良西里186番地	
南 城 市	ズ ケ ラン チョウ ビン 瑞 慶 覧 長 敏	61	4. 2. 11	1	(098) 948-7111	(098) 948-7149	901-0695	南城市佐数字新里1870番地	
国 頭 郡									
国 頭 村	ミヤ ギ ヒサ カズ 宮 城 久 和	76	2. 4. 6	2	(0980) 41-2101	(0980) 41-5910	905-1495	国頭村字辺土名121番地	
大宜味村	ミヤ ギ ノリ ミツ 宮 城 功 光	68	4. 10. 6	2	(0980) 44-3001	(0980) 44-3139	905-1392	大宜味村字大兼久157番地	
東 村	トウ ヤ マ マサ ノブ 當 山 全 伸	70	5. 4. 26	1	(0980) 43-2201	(0980) 43-2457	905-1292	東村字平良804番地	
今帰仁村	キ ヤ ン ハル キ 喜 屋 武 治 樹	69	2. 8. 22	1	(0980) 56-2101	(0980) 56-4270	905-0492	今帰仁村字仲宗根219番地	
本 部 町	タイ ラ タケ ヤス 平 良 武 康	69	4. 9. 20	1	(0980) 47-2101	(0980) 47-4576	905-0292	本部町字東5番地	
恩 納 村	ナガ ハ マ ヨシ ミ 長 浜 善 巳	54	5. 1. 23	2	(098) 966-1200	(098) 966-2779	904-0492	恩納村字恩納2451番地	
宜野座村	トウ マ マ アツシ 當 眞 淳	47	2. 12. 29	2	(098) 968-5111	(098) 968-5037	904-1392	宜野座村字宜野座296番地	
金 武 町	ナカ マ ハジメ 仲 間 一	64	4. 4. 16	2	(098) 968-2111	(098) 968-2475	904-1292	金武町字金武1番地	
伊 江 村	シマ ブク ロ ヒデ ユキ 島 袋 秀 幸	67	3. 4. 27	2	(0980) 49-2001	(0980) 49-2003	905-0592	伊江村東江前38番地	

- ※ H14. 4. 1 豊見城村から豊見城市へ（市制施行）
- ※ H14. 4. 1 仲里村・具志川村が合併して久米島町が誕生
- ※ H17. 4. 1 具志川市・石川市・与那城町・勝連町が合併してうるま市誕生
- ※ H17. 10. 1 平良市・城辺町・下地町・上野村・伊良部町が合併して宮古島市誕生
- ※ H18. 1. 1 玉城村・知念村・佐敷町・大里村が合併して南城市誕生
- ※ H18. 1. 1 東風平町・具志頭村が合併して八重瀬町が誕生

[2019 (令和1)年12月27日現在]

市町村名	市町村長	年齢	任期 (令和)	就任 回数	役 所 ・ 役 場			所 在 地
					電話番号	FAX番号	郵便番号	
中 頭 郡								
読 谷 村	イシ ミネ デン ジツ 石 嶺 傳 實	64	4. 2. 28	3	(098)982-9200	(098)982-9202	904-0392	読谷村字座喜味2901番地
嘉手納町	トウ ヤマ ヒロシ 當 山 宏	67	5. 2. 17	3	(098)956-1111	(098)956-9508	904-0293	嘉手納町字嘉手納588番地
北 谷 町	ノ グニ マサ ハル 野 国 昌 春	74	3. 12. 11	4	(098)936-1234	(098)936-7474	904-0192	北谷町字桑江226番地
北中城村	アラ カキ クニ オ 新 垣 邦 男	63	2. 12. 21	4	(098)935-2233	(098)935-3488	901-2392	北中城村字喜舎場426番地の2
中 城 村	ハマ ダ ケイ スケ 浜 田 介	57	2. 7. 3	3	(098)895-2131	(098)895-3048	901-2493	中城村字当間176番地
西 原 町	ウエ マ アキラ 上 間 明	73	2. 10. 5	3	(098)945-5011	(098)946-6086	903-0220	西原町字与那城140番地の1
島 尻 郡								
与那原町	デル ヤ ツトム 照 屋 勉	57	4. 5. 1	1	(098)945-2201	(098)946-6074	901-1392	与那原町字上与那原16番地
南風原町	アカ ミネ マサ ユキ 赤 嶺 正 之	68	4. 5. 8	1	(098)889-4415	(098)889-7657	901-1195	南風原町字兼城686番地
渡嘉敷村	ザ マ ミ ヒデ カツ 座間味 秀 勝	55	4. 11. 19	1	(098)987-2321	(098)987-2560	901-3592	渡嘉敷村字渡嘉敷183番地
座間味村	ミヤ ザト サトル 宮 里 哲	52	3. 5. 31	3	(098)987-2311	(098)987-2004	901-3496	座間味村字座間味109番地
粟 国 村	シン ジョウ シズ ヨシ 新 城 静 喜	66	2. 7. 31	3	(098)988-2016	(098)988-2206	901-3792	粟国村字東367番地
渡名喜村	トウ バル スグル 桃 原 優	60	3. 10. 14	1	(098)989-2002	(098)989-2197	901-3692	渡名喜村1917番地の3
南大東村	ナカ ナ ケン ショウ 仲 田 建 匠	60	4. 6. 30	4	(09802)2-2001	(09802)2-2669	901-3895	南大東村字南144番地1
北大東村	ミヤ キ ミツ マサ 宮 城 光 正	65	5. 12. 3	6	(09802)3-4001	(09802)3-4406	901-3992	北大東村字中野218番地
伊平屋村	イ レイ ユキ オ 伊 礼 幸 雄	72	3. 9. 12	3	(0980)46-2001	(0980)46-2956	905-0793	伊平屋村字我喜屋251番地
伊是名村	マエ セイ キ 前 田 政 義	75	4. 9. 20	5	(0980)45-2001	(0980)45-2467	905-0695	伊是名村字仲田1203番地
久米島町	オオ タ ハル オ 大 田 治 雄	64	4. 5. 11	2	(098)985-7121	(098)985-7080	901-3193	久米島町字比嘉2870番地
八重瀬町	アラ カキ ヤス ヒロ 新 垣 安 弘	63	4. 2. 11	1	(098)998-2200	(098)998-4745	901-0492	八重瀬町字東風平1188番地
宮 古 郡								
多良間村	イラ ミナ ミツ オ 伊良皆 光 夫	64	3. 7. 7	2	(0980)79-2011	(0980)79-2120	906-0692	多良間村字仲筋99番地の2
八 重 山 郡								
竹 富 町	ニシオオマス コウ ジュン 西大舩 高 旬	72	2. 9. 13	1	(0980)82-6191	(0980)82-6199	907-8503	石垣市美崎町11番地1
与那国町	ホカ マ シュ キチ 外 間 守 吉	70	3. 8. 27	4	(0980)87-2241	(0980)87-2079	907-1801	与那国町字与那国129番地

※ 41市町村 (11市11町19村)

【資料：沖縄県町村会 TEL (098)963-8651 FAX (098)963-8654】

【資料：沖縄県市長会 TEL (098)963-8616 FAX (098)963-8621】



グッジョブ運動とは？

❶ みんなでグッジョブ運動(沖縄県産業・雇用拡大県民運動)ってどういうもの？

県民が一丸となって就業意識の向上を目指し取り組む県民運動です。

❷ 目標

沖縄県の雇用情勢を全国並みに改善する。

❸ 計画期間

平成19年度～

❹ 基本コンセプト

みんなが生きがいを持って働く自立した豊かな社会の実現

自治おきなわ 2020年 1月号 (No.455)

2020年1月1日 発行

発行 沖縄県町村会

〒900-8531 那覇市旭町116番地37 TEL(098)963-8651
(自治会館5階) FAX(098)963-8654

編集
責任者 知念政博

印刷所 丸正印刷株式会社
電話(098)835-8181
